

せせらぎ



西明寺にて(2021年11月25日撮影)

2023年11月号

No. 409



滋賀県勤労者山岳連盟

湖南岳友会

目次

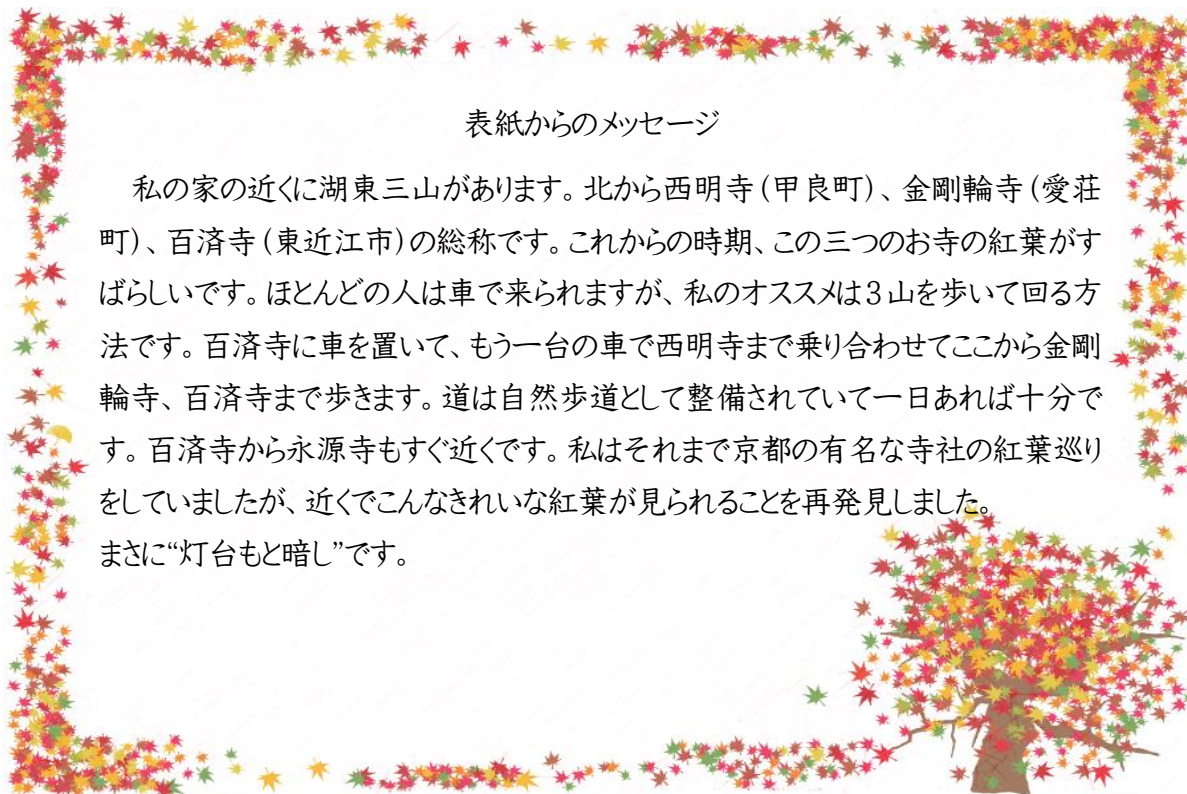
- 表紙からのメッセージ
- リレーエッセイ 【私のひとりごと】
- 11月例会山行案内 【雨飾山】
- 11月例会山行案内 【信貴山】
- 45周年集中登山報告 【立山周遊コース】
- 【奥大日コース】
- 【劔岳コース】
- 【源次郎尾根コース】
- 45周年集中登山会計報告
- 2023年度後期例会山行計画
- 会員山行記録(9月)
- お知らせ

今月の予定

- 10月28日(土) 定例会議 19:00～ 草津市民交流プラザ
- 11月3日(金祝)～4日(土) 例会山行【雨飾山】 申込締切 10月22日(日)
- 11月19日(日) 例会山行【信貴山】 申込締切 11月12日(日)

表紙からのメッセージ

私の家の近くに湖東三山があります。北から西明寺(甲良町)、金剛輪寺(愛荘町)、百済寺(東近江市)の総称です。これからの時期、この三つのお寺の紅葉がすばらしいです。ほとんどの人は車で来られますが、私のオススメは3山を歩いて回る方法です。百済寺に車を置いて、もう一台の車で西明寺まで乗り合わせてここから金剛輪寺、百済寺まで歩きます。道は自然歩道として整備されていて一日あれば十分です。百済寺から永源寺もすぐ近くです。私はそれまで京都の有名な寺社の紅葉巡りをしていましたが、近くでこんなきれいな紅葉が見られることを再発見しました。まさに“灯台もと暗し”です。



私のひとりごと

・・・金のなる木・・・

これは自宅で育てた金のなる木の話です。金のなる木の語源は、その昔「お金がなる」というキャッチフレーズで売られていた多肉植物で、新芽のうちに穴の空いた小銭を通しておき、成長すると葉っぱの間に銭が挟まったように見えることから名付けられたことのようにです。ぷっくりとした葉っぱが印象的で、縁起の良い花言葉を持つことから、幸運を招くプレゼントとして人気があるようです。

この木の葉っぱを知り合いからもらい、自宅内で植木鉢に葉挿しました。やがて枝が伸びて新芽も成長してきました。水やりに注意しながら数年間観葉植物として居間に飾っておきました。ところがある時、突然花芽出て来てみるみるうちに広がり、やがて鉢が爛漫の花で蔽われ、何日間か居間がにぎわいました。

(残念ながら、この木はなぜか花が終わるとともに枯れ死しました)





雨飾山

長野県北部の小谷村と新潟県糸魚川市の境に位置する標高 1,963m の山で、日本百名山に数えられています。「猫の耳」と呼ばれる 2 つの山頂を持った双耳峰の山容が特徴的で、山名の由来は山頂で祭壇を祀って雨乞いの祈願をしたことから。また、山頂手前の笹平と登山路が描く「女神の横顔」が有名だニャー。

日程

11/3 野洲駅—名神 竜王 IC—北陸道 糸魚川 IC—雨飾山荘 テン泊

11/4 雨飾温泉-中ノ池-分岐-雨飾山 (ピストン)

タイム 6:25 距離 5.8km 標高差 1131m

装備

一般テン泊装備



11月例会山行案内

信貴山 437m

CL T

昔この山で聖徳太子が「寅の年、寅の日、寅の刻」に毘沙門天王の力を借りて世の中を平和にしました。そのことにより聖徳太子がこの山を「信ずべき、貴ぶべき山」として信貴山と名付け毘沙門天を祀るための寺院を創建しました。現在では「信貴山の毘沙門さん」「信貴山寺」等と呼ばれ商売繁盛、必勝祈願、金運招福等民信仰として親しまれています。

1. 山行日 11月19日(日)
2. 集合場所 近鉄京都駅改札口7時10分
急行天理行7時22分発乗車→近鉄信貴山下駅下車8時50分
3. 行程 近鉄信貴山下駅8時50分→おおみちハイキング道→高安山11時00分
→信貴山12時30分→大谷池13時00分→近鉄平群駅15時00分→京都
駅経由→野洲駅17時30分
4. 持ち物 雨具、地図、水、行動食等

9月山行報告

45周年記念集中登山 立山周遊コース



実施日：2023年9月16日～18日

天候：16日時々雨 17日晴れ 18日曇り

参加者：参加者10名

★コースタイム

9/16 室堂バス停 13:00 着→13:25 発→雷鳥沢テント場 14:25 着

9/17 テント場 6:45 発→一の越 9:00→雄山 10:30→大汝山 11:20→富士の折立 12:00→昼食後出発
12:50→分岐 13:05→真砂岳 13:15→分岐・大走りへ 13:25→雷鳥沢 15:00

9/18 テント場全員集合 6:30 6:50 発→室堂バス停 7:55 着 8:47 バス出発

★一口感想



☆バスで行く山行は大変楽で乗り換えなしは最高でした。予定通りのコースは行けなかったが楽しい山行でした。

☆10年ぶりの「立山」、観光バスが近くまではいっているのに少し離れた「雷鳥沢」「立山三山」は静寂に包まれ雄大なパノラマの景色、やはり一級品の山だと改めて感動しました。また、参加者全員協力により45周年記念集中登山を終えられたこと大感謝です。

☆猛暑続きでこの二月は山行を自粛していたために少し不安でしたが、天候にも恵まれて思いのほか歩くことができました。



♡久しぶりの8テントぎゅうぎゅう詰めに寝袋が7つ何とも懐かしい臭いが漂うテント内で2夜過ごせた。最近簡単に石利用なのでペグの打ち方もすっかり忘却の彼方へ。でも起きるとまずお湯を沸かしてよあけのコーヒーを一杯☺この欠かせないテントの習わしは忘れない。

♡初めてのテント泊、初めての共同装備、、わからないことばかりでしたが全てが楽しかったです！次回はもっと動けるように頑張ります。

♡17名の山行は久しぶり、やはり人数が多い方が楽しいです。この時期花は少ないですが、山イチョウやブルーベリー等の山の味覚を満喫できました。

♡バスを使えば、あんなに簡単に室堂に行けるとは驚きました。三山はアクゼントで行けませんが、周りをウカ出来て気持ち良かったです。温泉も2か所行けて良かったです。欲を言えば人多すぎて、きつかったです。もう少し歳を取ったらもっと楽しいと思います。



♡雷鳥沢から眺めた立山連峰は大きくて立派で雷鳥沢を包み込んでいるようで感動しました。石が多く歩きにくい山道でしたが、四山の頂上に立つことが出来、がんばった！です。疲れた後のビールも最高！キャンプも楽しかったです。10年前も立山山行をしています。立山は雪に覆われ、大きな雪山でした。その中を小さな私達が列を作り歩いているのが

印象的です。2回立山山行ができました。ありがとうございます。

♡久々のテント泊で、多く会員のみなさんと45周年をお祝いすることが出来ました。皆で食べるご飯はほんとに美味しかったです！それにしても3連休ということもあって、テント場もたいへんな賑わい。雄山への登山道も渋滞していましたが、剣では想像を絶する大渋滞が起こっていたとか・・・登山を楽しむ人が増えるのは嬉しいことですが、いささかオーバーツーリズム気味のようなこの頃。とはいえ、連休ではお天気もまずまずとなると、みんなが行きたくなるのは致し方ないことですね～

♡お天気も良く、渋滞のせいか稜線ではゆっくりと景色を眺めることが出来ました。五色が原に奥大日岳、遠くは槍ヶ岳、燕岳、富士山まで。雷鳥沢では満点の星空が。その上夕食のなんと美味しかったこと。企画準備が大変だったと思います。本当にありがとうございました。



45周年記念集中登山山行報告

奥大日岳 2606mコース（雷鳥沢野営場からのピストン）

山行日 9月17日

参加者 1名

行程 雷鳥沢 7:17 ⇒ 室堂乗越 8:13 ⇒ 奥大日岳 9:35
⇒ 室堂乗越 11:31 ⇒ 雷鳥沢 12:26

概要 雷鳥沢から室堂乗越への道は草紅葉が綺麗な急登で後は稜線歩きになります。奥大日岳の眺望は、劔岳を中心に左に早月尾根（早月小屋もしっかり見えます）、右に前劔や劔御前の稜線が真横から望めスケール感のよくわかる場所です。奥大日岳の先には大日小屋から大日岳に伸びる稜線とその向こうに日本海が広がります。



雷鳥沢から正面奥が奥大日岳、左の二つのピークを越えていきます。スマホが故障したので、山頂からの絶景は写真に残せませんでした。

45周年記念集中登山山行報告

劔岳コース

実施日:9月16日(土)~9月17日(日)

参加者:4名

コースタイム

9月16日(土)曇りのち雨

13::20 室堂スタート ⇒14:00 雷鳥沢テント場(テント設営)14:20⇒16:05 劔御前小屋(泊)

9月17日(日)快晴

3:55 劔御前小屋⇒5:15 劔山荘 5:25⇒7:10 前劔 7:25⇒8:15 平蔵の頭(タテバイまで渋滞)⇒

9:15 平蔵のコル手前にて撤退下山開始(北緯 36° 37' 16" 東経 137° 36' 53" 標高 2830m)⇒9:50 前劔 10:15

⇒11:40 劔山荘 12:00⇒13:25 劔御前小屋(休憩・荷物回収)13:50⇒15:20 雷鳥沢テント場

会 計

劔御前小屋: 11,500 円(夕飯あり)/1 人

水2L:1000 円 250 円/1 人

9月16日(土)曇りのち雨

雷鳥沢をスタートしてすぐに雨。カッパ着用。

雨の中岩場を進みます。

途中、雷鳥と遭遇。ぷくっと丸い3羽が出迎えてくれました。



狭い劔御前小屋。相部屋 8 名満員。荷物置き場も困るほど。

乾燥室で T 摩さんのカッパが M から L に交換される！

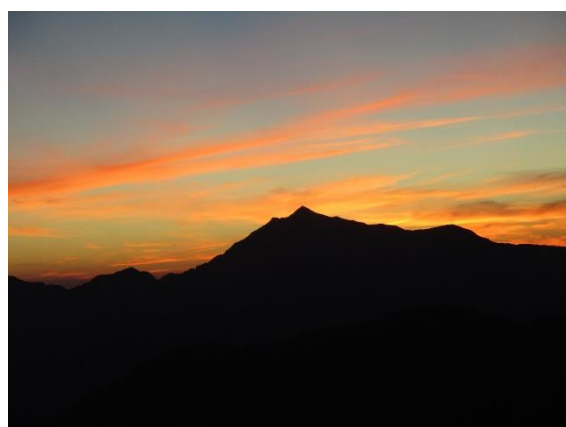
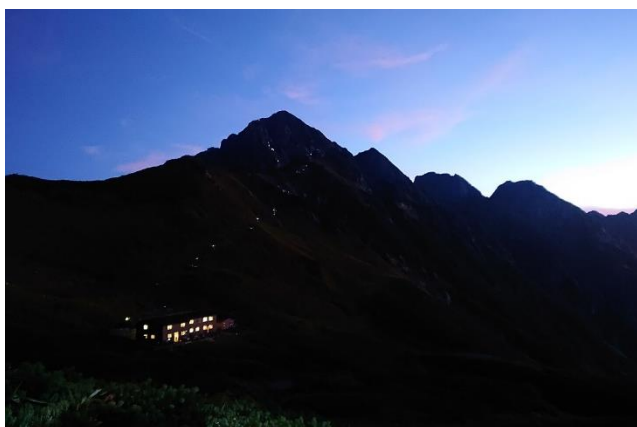


9月17日(晴)

さあ本番！劔山荘手前目指すはこの山の向こう?! だよね。鹿島槍カッコイとまだここでは楽しくおしゃべりしながら歩いていました。

日の出前のこのシルエット。山に来たと実感します。この景色がとても好きです。

劔山荘からが本当のスタート。すでにたくさんの明かりが移動しています。



岩と鎖、鎖場がたくさんあったと歩きながら思い出す。
前劔も込み合っていて、タテバイどうなるかな？と思っていると平蔵の頭前でピタッと止まる。
平蔵の頭を過ぎると大渋滞が見えてきました。これは？何？時間が読めないなので、リミットを相談。
カニのタテバイの人たちが動いていないので、残念ながら撤退を決定。来年リベンジを！



平蔵の頭手前で渋滞のため進めず
日陰で寒く上着を羽織る



平蔵のコル手前からの大渋滞

<一口感想>

剣御前小屋から剣山荘までもかなり時間がかかったように感じました。タテバイは渋滞するとは思っていましたが、まさかの長蛇の列。連休の中、快晴。ここまで来て残念。

来年、平日にリベンジしたいです。

早月尾根から剣岳へは登頂したことがあるが、最もポピュラーな別山尾根から登頂してみたかった。しかし、ベストシーズンの3連休、それも快晴とあって様々なレベルの登山者が大勢殺到したみたいで、平蔵の頭あたりから先は渋滞で先に進めず、下山時間や体力も考えての涙の撤退。がんばって朝3時に起きたのに・・・(涙) 来年、再チャレンジします！

昨年夏に立山から大日岳を縦走した時、剣岳は登る山から見る山になりつつあるように思いましたが、45周年集中登山で企画していただいたので、これが最後のチャンスと思って参加しました。

残念ながら大渋滞のためカニのタテバイの手前で引き返しましたが、剣岳の雄大さは十分に味わうことができました。ロープを使うような山行では順番待ちは当たり前で、今回同様、あきらめて途中で引き返したこともありますが、いわゆる一般ルートで渋滞のために引き返したのは初めてで、驚きでした。

最初に剣岳に登ったのはちょうど50年前で、その時は剣山荘から頂上まで2時間半、その日のうちに立山も縦走して室堂から下山しました。50年前というのは、やはり遠い過去です。

剣岳は三度例会に申し込みましたが、天候不良で中止やケガで歩けていませんでした。

コロナ禍もあり、その間に年齢を重ねて剣は見る山に変わってしまっていたところ、K村さんに歳を取っても今まで多くの山を歩いてきた経験があるやろと言っていたので参加を決めました。

岩稜帯はK村さんの後をついて不安なく歩きましたが、猛暑の夏の疲れか体力が不安でした。

登山道が渋滞して登頂できなかった事と、結構疲れてしまって、小屋でグッズを購入したり、写真を撮ったりと、楽しむことまで出来なかったのが残念でした。でも、来年こそ登頂を目指して、再度挑戦しますよ！

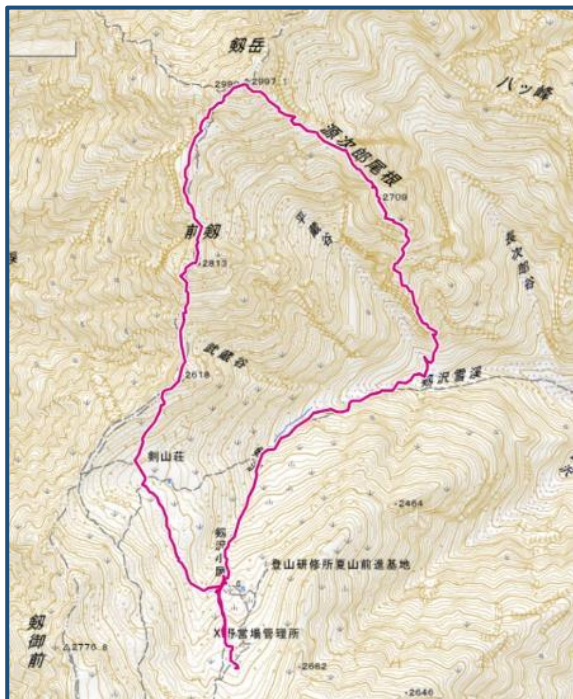


45周年記念集中登山報告

劔岳 源次郎尾根

山行日： 2023年 9月 17日 日曜日

参加者： 2名



行程：

4:00 劔沢キャンプ場

↓

5:00 源次郎尾根末端

↓

9:00 I峰

↓

10:00 II峰

↓

12:00 劔岳

↓

16:30 劔沢キャンプ場

午前4時 劔岳 BC の朝は早い。もう劔岳山腹にヘッドランプの灯が見える。



剱沢と平蔵谷の出会い付近、正面の尾根が源次郎尾根の末端。

こんなに残雪が少ないのは初めてのことらしく、対岸に渡るスノーブリッジが心細い。



いきなり厳しい



尾根筋を登る



I 峰を超えると剱岳山頂が望めた。
よく晴れた秋の日、絶景の岩稜尾根を歩くのは本当に気分が良い。
ここはバリエーションルートなので人も少なく、適度にスリリングで冒険心をくすぐる。



Ⅱ峰直後の懸垂下降 25m



急登 岩肌とハイマツの境に先行者有り



登頂

急登や登攀はキツかったけど、その分達成感は強くなる。気分良く充実した登山だった。

下山路は別山尾根のメジャールート。あちらこちらで渋滞が発生して剱沢テン場の帰着が大幅に遅くなった。雷鳥沢キャンプ場の本隊との合流はあきらめた。

おまけ



ヨコバイ 1時間待ち



雷鳥 雷鳥沢乗越付近



イワツメクサ

2023年12月～2024年5月

日程		山域		CL	SL
12	2日(土)～3日(日)	ダイヤモンドトレール 金剛山～岩湧山	金剛葛城山系の稜線縦走 1泊2日 S Lは参加者から選出		
	9日(土)	綿向山	鈴鹿の初冬(下山後希望者のみ避難小屋忘年会(泊)) S Lは参加者から選出		
1	7日(日)	比叡山	新春登山 下山後新年会 S Lは参加者から選出		
	14日(日)	堂満岳～八雲ヶ原	アイゼントレーニング S Lは参加者から選出		
	20日(土)～21日(日)	氷ノ山	絶景の大雪原(わかさスキー場から前夜泊) S Lは参加者から選出		
2	4日(日)	霊仙岳	樹氷と福寿草 S Lは参加者から選出		
	23(金)～24日(土)	大菩薩嶺	厳冬期の2000m級 1泊2日 S Lは参加者から選出		
3	2日(土) (県連総会3/3(日)のため)	銀杏峰	快晴時は北陸最強の眺望 S Lは参加者から選出		
	16日(土)～17(日)	金峰山	南ア・富士山等の眺望 S Lは参加者から選出		
4	7日(日)	花見山行 場所未定	S Lは参加者から選出		
	21日()	ヴィア・フェラータ	御在所のバリエーション S Lは参加者から選出		
5	3日(金)～5日(日)	四国 三嶺～剣山	四国屈指の絶景稜線歩き S Lは参加者から選出		
	19(日)	百里ヶ岳	雄大な山容と百里四方の眺望 S Lは参加者から選出		

2023年9月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
9/2 ~ 9/3	五老岳・赤岩岳	例会	4		○
9/3	比叡山(坂本比叡山口～四明岳～一本杉～無動寺)		2		
9/7	音羽山(大平山～千頭岳～音羽山)		1		
9/10	金毘羅 Y 懸尾根	県連	1	7	○
9/10	三上山岩訓練		3		
9/16 ~ 9/18	劔岳 源次郎尾根	45周年 集中登 山	2		○
9/16 ~ 9/18	奥大日岳		1		
9/16 ~ 9/18	劔岳		4		
9/16 ~ 9/18	立山周回コース		10		
9/24	巻機山		1	2	
9/24	武奈ヶ岳		1		

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。